

「イクケン香川」 たまご育て事業

次代を担うたまご応援講座

未来の自分の人生に対し、向き合う機会が少ない高校生を対象に、結婚、妊娠・出産、子育てに関する正しい知識やライフデザインの重要性を伝えることにより、将来の希望を叶えられるよう、県内5校で出前形式の講座を実施。

開催日時	9月10日	10月9日	10月30日	10月27日	11月4日	11月5日	11月19日	合計
高校	高松南	農業経営	琴平	高松		笠田		
学年	1.2.3年生	3年生	3年生	1年生		3年生		
人数	87	93	30	119		112	441	

人生イメージを描いてみることで、
自分らしく生きていくことを考えてみよう



勉強に、部活にと、目まぐるしく時間を過ごしている高校生にとって、その日1日を過ごすことに一生懸命で、未来の自分を想像する機会はなかなかありません。

5年後、10年後、どんな仕事をして、誰と過ごしているのかなど、色々な問いかけに答える形で、実

際にワークシートに記入します。自分自身の未来をより具体的にイメージしていくことで、様々な気づきがあります。その上で、今の学校生活をどのように送っていくか、そしてその先、どのように進んでいくかを考えるきっかけにしていただけたらと思います。

初めに、チャンスをつかみ、自分の夢をかなえるためには、今をどう過ごすべきかを考えます。目標のある人は、それに向かってやるべきことを見つけ、進む。一方、将来の夢がよくわからない、あるいは、そんな今の状態を不安に思うなどまだはっきりとしたイメージが持てない人には、様々な情報を集めることや今できることを一生懸命やっておくなど、いろいろな方法を伝えました。





次に、現在の子育て事情を知る機会を設けました。少子高齢化や晩婚化という言葉は聞いたことがあっても、今と昔の違いをイメージすることは難しいようです。写真やデータを見ることで、昔は3世帯家族や、兄弟姉妹の数が多かったことを初めて知ったという生徒もいました。また、子育ては「孤育て」にならないように、「多くの人の力を借りたい」という意見や、「男女ともに子育てにかかわらなければいけない」という意見もあり、子育てへの関心をもっている生徒も多くいることが分かりました。さらに、自分の将来の家族の姿を考えて、ライフデザインを描く大切さに気づいたという生徒も見受けられました。

最後に、5年後に自分のもつに届く手紙を書いてもらいます。この手紙が届くころ、今想像している通りでしょうか。全く違った未来でしょうか。

まだ漠然ととらえている将来を、自分自身でデザインしていくライフデザインの時間が、「自分らしい人生の歩み方」を考えるきっかけになれば、また、社会に出た時に様々なシーンでサポートしてくれる仕組みがあることや助けてくれる人が周りにいることを思い出し、家庭を持つことや、育児を含め、大人になることを前向きにとらえてもらえれば、との思いを込めて、お話をさせていただきました。



参加者アンケートより(一部抜粋)

- 将来について全く考えていなかったけれど、授業を通して何となくイメージがついて、結婚もいいなと思うようになった。もし子供が生まれたら、子供が幸せになれるような環境を作りたい。
- 将来について考えることは非常に難しいなあと思う。あと数年で社会に出なければならぬのに、まだ全くイメージがつかずにいるので、目標をもってチャンスを待ってみようと思った。
- 将来について考えるのは、わくわくして、5年後、10年後が気になりました。
- どれだけ苦労して子育てしなければいけないのかということや、結婚の大切さがよく分かった。子供の面倒をみるのは母親だけではなく、父親もすることなので、自分も子供が生まれたときは、助け合って生きていこうと思った。
- 人生の目標や計画を立てることが大事なのはわかってはいたけれど、どう備えておくかの大切さを知った。
- 将来を想像することは大切なことなんだと思いました。想像したとしても想像外のことが起きるので、人生は楽しいんじゃないかなと思いました。
- 子育ての大切さを改めて感じました。人生適当に過ごすのではなく、ちゃんと目標をもって過ごした方が何倍も楽しいと思います。
- 自分の将来について考えられているつもりだったけれど、実際に紙に書いてみたら全然想像できていないことに気づくことができた。将来についてまたじっくり考えてみようと思った。
- 男性も育児休暇をとってほしいと思った。男性も子育てをしてほしいと思った。今日学んだことを今後にかかしていきたい。(男子生徒)